

第4次真庭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 2022年度運用状況報告

第4次真庭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（計画期間：2022年度から2026年度）を策定、市役所が率先し地球にやさしい職場づくりを推進しています。

この度、2022年度の二酸化炭素排出量を整理しましたので公表します。

2022年度は、脱炭素先行地域に選定され取組を加速させたこともあり、基準年度(2013年度)比45.2%削減、短期目標である【2026年度に2013年度比42.7%削減】を達成しました。

これは省エネ・創エネの取組に加え、再生可能エネルギー由来の電力（特に木質バイオマス発電）の調達※等による成果ですが、電力使用量は依然多い状況です。

短期目標は達成しましたが、電力使用量の減少を念頭に引き続きゼロカーボンシティに向け、引き続き積極的に取り組んでいきます。

※発電の際の二酸化炭素排出量が影響し、火力発電の比率が高いと二酸化炭素排出量も増加する

■温室効果ガスの排出削減目標

基準年度(2013年度)比

2026年度：42.7%

2030年度：46.7%

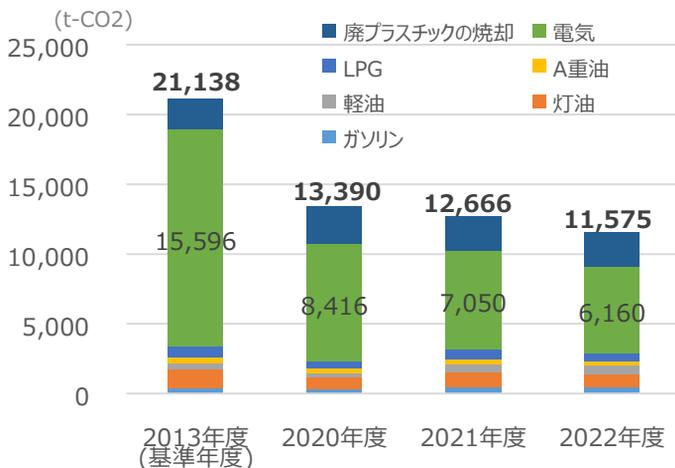
の削減を目標にしています。



■実績

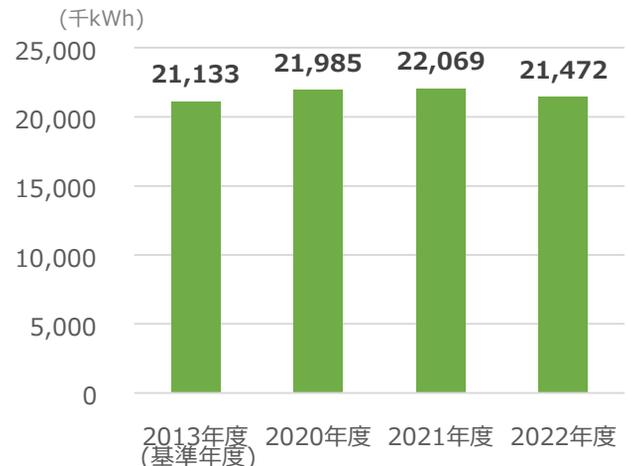
①二酸化炭素排出量の推移

再生可能エネルギー由来の電力（特に木質バイオマス発電）の調達等により、順調に削減が進んでいます。



②電気使用量の推移

電気使用量は前年度より減少したものの、依然基準年度を超えて推移しています。



■事業者・市民等への取組

市民・事業者等も含めた脱炭素の取組の指針である真庭市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に沿い、ごみの減量やCOOL CHOICEの普及啓発等様々な施策を連携して実施していきます。



市ホームページから計画をご確認いただけます